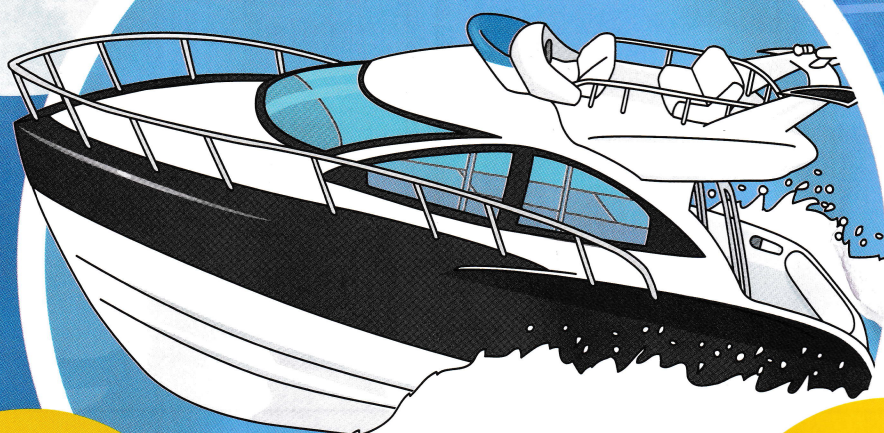


プレジャーボートをお持ちの方へ

点検整備で 安全な航行を!



アンケートに
ご協力ください

点検整備についての
アンケート



事故防止のための
情報満載

 **Water Safety Guide**
モーターボート編



海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

機関故障を防ぐために点検整備を

近年、プレジャーボートの海上におけるトラブルが後を絶ちません。その多くは、機関故障が原因です。

機関故障の発生で漂流、乗揚げ、衝突など乗船者の命を脅かす事態にもなりかねません。

日頃の点検習慣を身につけ、あなたと同乗者の命を守りましょう。

点検整備箇所例

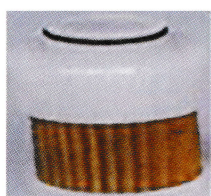
普段あまり見ないところも点検整備に併せ確認しましょう

① 燃料油系

機関の回転不良等があると、燃料フィルタやキャブレタが詰まっている可能性があるので、必要に応じ整備・交換しましょう。



新品の燃料フィルタ



劣化した燃料フィルタ

② 冷却水系

冷却海水の排水量が少ないと、インペラが損傷している可能性があります。

オーバーヒートにも繋がるので、必要に応じ交換しましょう。



新品の
海水ポンプインペラ



劣化した
海水ポンプインペラ

定期交換時期

交換時期は目安です。

詳しくは搭載機関の取扱説明書に従いましょう。

共通

バッテリー 3年毎
コントロールケーブル 2～5年毎
防食亜鉛 半減したら交換

船外機

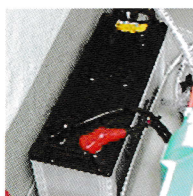
燃料フィルタエレメント 200時間or2年毎
エンジンオイル 100時間or6ヶ月毎
オイルフィルタエレメント 200時間or2年毎
ギヤオイル 100時間or6ヶ月毎
スパークプラグ 200時間or1年毎
海水ポンプインペラ 1年毎



⚡ 電気系

バッテリーターミナルの接続端子部分の緩みや被覆の亀裂、腐食等を点検し、接続不良を防止しましょう。

スパークプラグの汚損状況等を点検し、必要に応じ交換しましょう。



新品のバッテリーターミナルの配線部

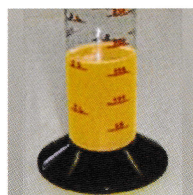


腐食したバッテリーターミナルの配線部

⚙ 軸系

ギヤのオイルシールやガスケットの劣化等により、ギヤ内部に海水が流入し、ギヤオイルと混ざり合い白濁等を起こします。

ギヤの欠損にも繋がるので、必要に応じ交換しましょう。



新品のギヤオイル



白濁したギヤオイル

船内機

燃料フィルタエレメント	200時間毎
エンジンオイル	200時間毎
オイルフィルタエレメント	200時間毎
冷却水	600時間毎
Vベルト	異音、摩耗等

異音・振動等を見逃さず
これらの部品以外にも
要チェック。



点検整備記録表

船体・機関の状態を把握するために点検整備の内容を記録し、船舶検査手帳と一緒に大切に管理しましょう。

実施年月日	整備作業実施者	点検整備概要	事業者作成 整備記録等
(例)〇年〇月〇日	マリンショップ〇〇	主機関消耗品交換	☒ 有・無
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

定期メンテナンス 記録表

点検習慣を身につけましょう。



発航前検査 チェックリスト

発航前検査は、船長の義務です。



☒ 定期的な点検整備！

整備業者等による定期的な点検整備を行い、未然に機関故障を防止しましょう。

☒ 普段と違うは要注意！

発航前検査や日常点検を徹底し、艇の異変(異音、振動等)を見逃さないようにしましょう。

☒ アフターケアも大切に！

使用後は、冷却系統の真水洗い等のアフターケアをしっかり行い、艇を良好な状態に保ちましょう。

☒ 整備記録を管理しよう

点検整備の内容を記録しましょう。整備事業者等による点検整備を受けた際はその内容が把握できる領収書等も併せて保管するようにしましょう。